

タカラスタンダード株式会社

2026年3月期 第2四半期

決算説明資料

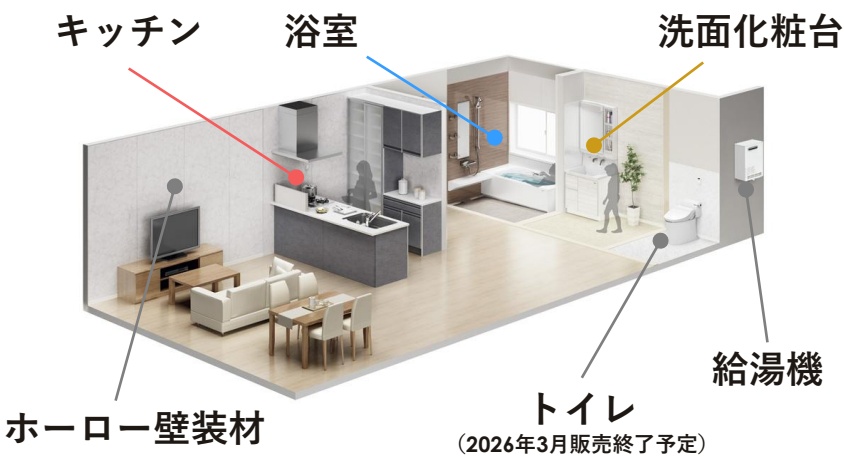
2025年11月6日

証券コード
7981

水まわりって、大切だから

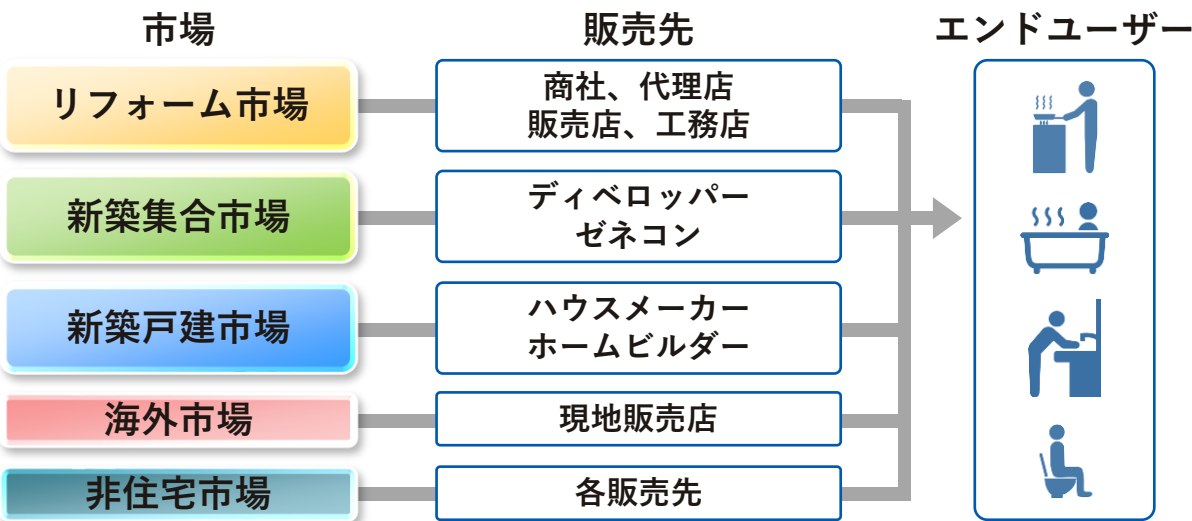
Takara standard

独自素材「高品位ホーロー」を使った製品などを展開する総合住宅設備機器メーカー

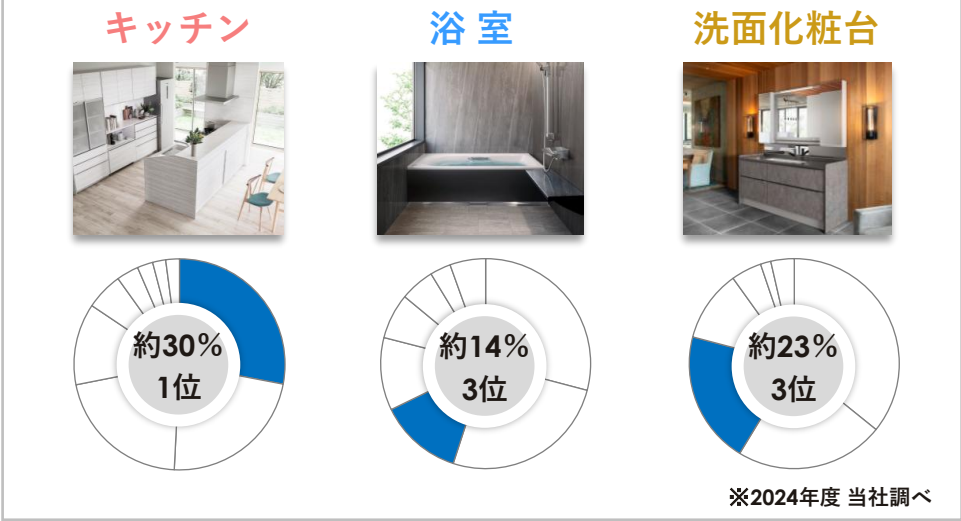


社名	タカラスタANDARD株式会社
本社	大阪市城東区鳴野東1-2-1
創業	1912年5月30日
代表取締役社長	小森 大
上場証券取引所	東証プライム (7981)
業績	売上高：2,433億円 営業利益：156億円 (25年3月期)
従業員数	6,560名 (25年3月末)

リフォーム市場、新築集合市場、新築戸建市場を中心に事業を展開



業界シェア (金額ベース)



2026年3月期 2Q実績

売上高は**過去最高**、各利益は前期比**46%超**の伸び

売上高 **1,231**億円(前年同期比+**6.2%**)、営業利益 **87**億円(同+**46.3%**)

- 新築向けが戸建・集合とも好調に推移し増収
- 増収に加え、粗利率の改善、経費の抑制により大幅増益

2026年3月期 業績予想 (上方修正)

上期業績を踏まえ、業績予想を**上方修正**。売上高・各利益とも**過去最高**を予想

売上高 **2,500**億円(前期比+**2.7%**)、営業利益 **175**億円(同+**11.9%**)

- 新築戸建・集合における売上拡大、生産の合理化・在庫圧縮などによる経費削減

中計最終年度(27/3期)のROE8%へのステップとしてROE**6.7%**目標

株主還元

今期配当は中間・期末とも50円の年間**100円**(配当性向**50%水準**)と前期比22円の**増配**

- 自己株式取得は、今期および来期で約**220億円**を計画(**総還元性向130%水準**)

今期の計画に対する上期の進捗は、**55億円(50.3%)**実施済み

1. 2026年3月期 第2四半期 決算概要 P. 4 ~ 11

2. 2026年3月期 通期業績予想 P. 13 ~ 20

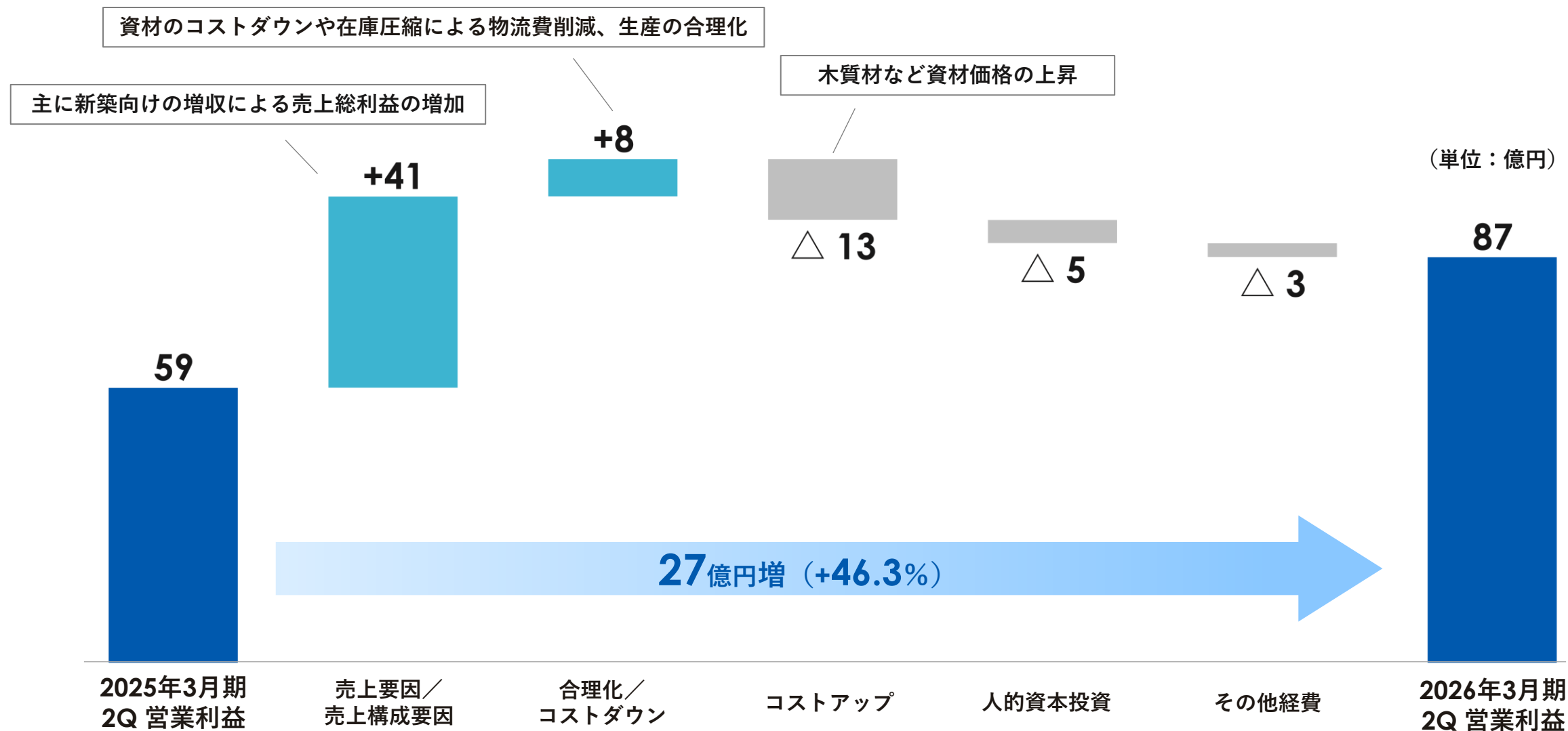
3. Appendix P. 22 ~ 34

売上高は第2Qとして過去最高を達成。増収およびオプション品の拡販などによる商品単価の上昇に伴う売上総利益の増加に加え、合理化・コストダウンの推進により、各利益とも大幅増益。

(単位：億円)

	2025年3月期 2Q (4-9月)		2026年3月期 2Q (4-9月)			
	実績	売上比	実績	売上比	増減	増減率
売上高	1,159	100.0%	1,231	100.0%	+ 71	+ 6.2%
売上総利益	396	34.2%	432	35.1%	+ 35	+ 9.0%
販売費及び 一般管理費	336	29.1%	344	28.0%	+ 7	+ 2.4%
営業利益	59	5.1%	87	7.1%	+ 27	+ 46.3%
経常利益	61	5.3%	90	7.3%	+ 28	+ 46.8%
純利益※	38	3.3%	69	5.6%	+ 30	+ 79.0%

※本資料における「純利益」は、親会社株主に帰属する当期もしくは四半期純利益を指す

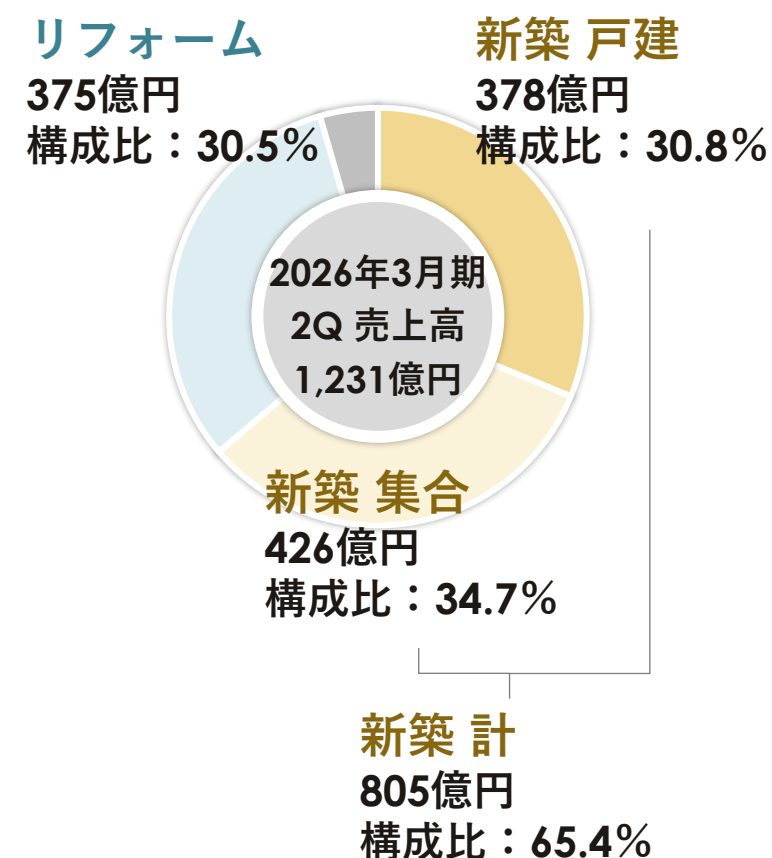


- 新築（戸建） | オプション品などによる単価アップ、2025年4月の建築基準法改正前の駆け込み需要の効果発現
- 新築（集合） | 首都圏をはじめ大都市圏の底堅い需要やオプション品などの単価アップも寄与
- リフォーム | ボリュームゾーン商品の仕様強化やお客様のニーズに寄り添った商品提案を継続するも、業界全体での伸び悩みにより微増

（単位：億円）

		2025年3月期 2Q (4-9月)		2026年3月期 2Q (4-9月)			
		実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率
新築	戸建	347	29.9%	378	30.8%	+ 31	+ 9.1%
	集合	386	33.3%	426	34.7%	+ 40	+ 10.6%
	計	733	63.2%	805	65.4%	+ 72	+ 9.9%
リフォーム		374	32.3%	375	30.5%	+ 1	+ 0.3%
合計※		1,159	100.0%	1,231	100.0%	+ 71	+ 6.2%

※その他の売上高を含む



新築市場への販売が好調だったため、すべての製品部門において増収。
洗面化粧台は新築戸建・集合ともに採用率が上昇したことで特に大きく増加。

(単位：億円)

	2025年3月期 2Q (4-9月)		2026年3月期 2Q (4-9月)			
	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率
キッチン	701	60.5%	749	60.9%	+ 48	+ 6.9%
浴室	279	24.1%	291	23.7%	+ 11	+ 4.3%
洗面化粧台	131	11.4%	146	11.9%	+ 14	+ 11.3%
合計※	1,159	100.0%	1,231	100.0%	+ 71	+ 6.2%

新規事業関連(内数)

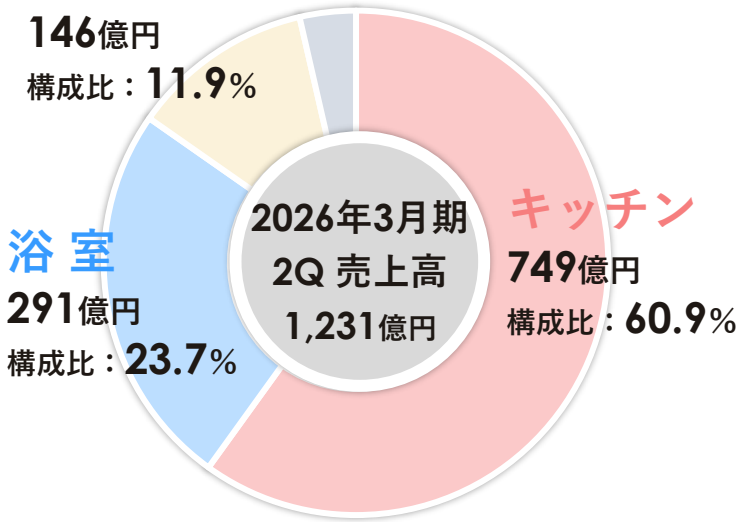
ガラスフリット	11	1.0%	12	1.0%	+0	+6.6%
内外装パネル	3	0.3%	3	0.3%	△0	△11.8%
海外事業	5	0.5%	5	0.5%	△0	△4.2%

※その他の売上高を含む

洗面化粧台

146億円

構成比：11.9%



キッチン

749億円

構成比：60.9%

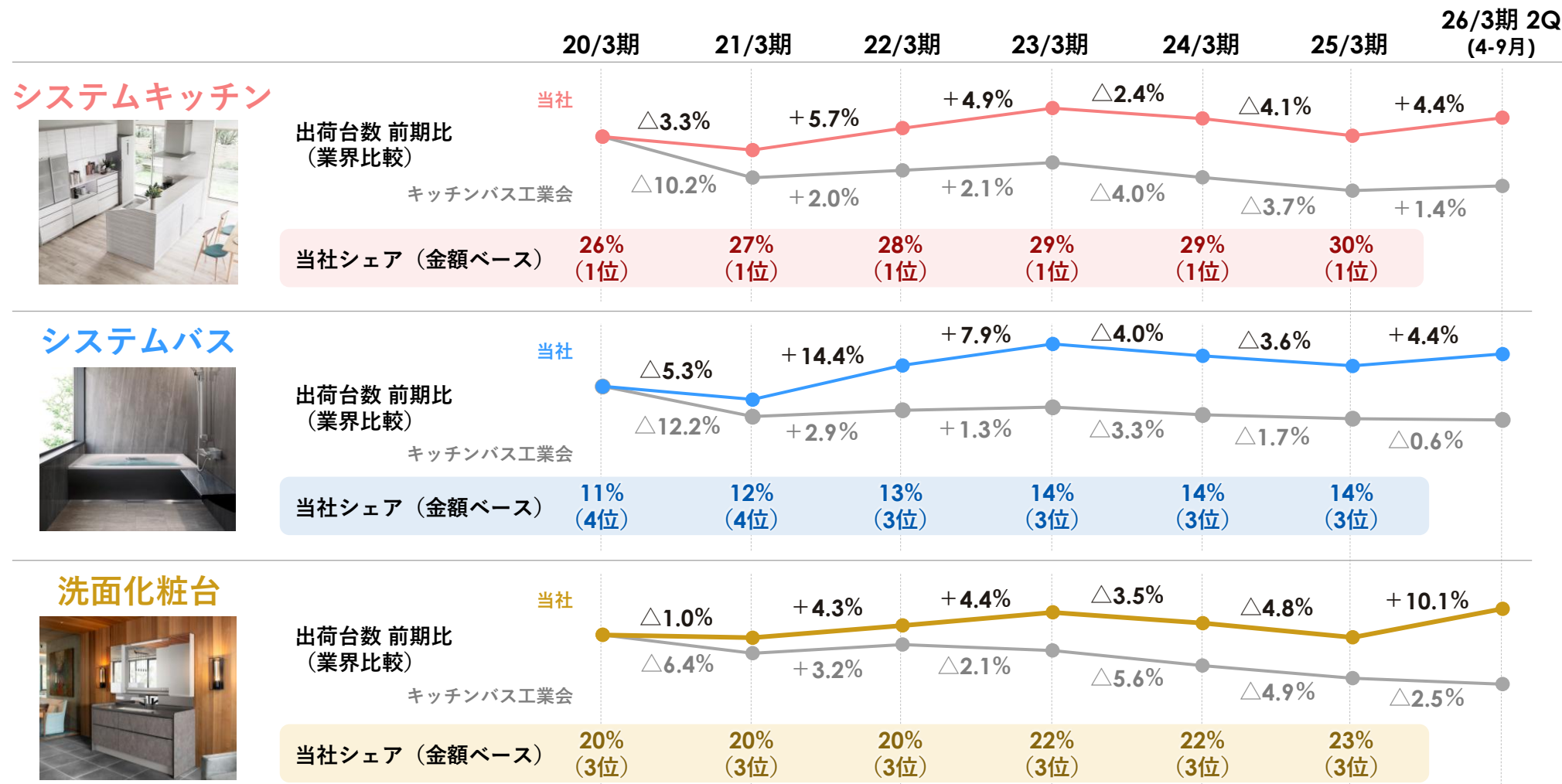
浴室

291億円

構成比：23.7%

2026年3月期
2Q 売上高
1,231億円

上期における出荷台数の前期比は、新築向けの販売が好調に推移したことで業界を上回った。
20年3期基準でも全製品部門で業界を上回り、当社シェアは拡大。



※キッチン・バス工業会は、システムキッチン合計、システムバス合計、洗面化粧台合計の前期比を記載
※業界シェアは当社調べ

売上高（単位：億円）			2026年3月期 2Q (4-9月)		
			キッチン 749	浴室 291	洗面化粧台 146
売上高 構成比					
売上高前 年同期比	新築	戸建	+ 9.1%	+ 9.2%	+ 13.3%
		集合	+ 9.8%	+ 8.7%	+ 14.7%
		計	+ 9.5%	+ 9.1%	+ 14.4%
	リフォーム	+ 0.5%	+ 1.0%	+ 2.4%	

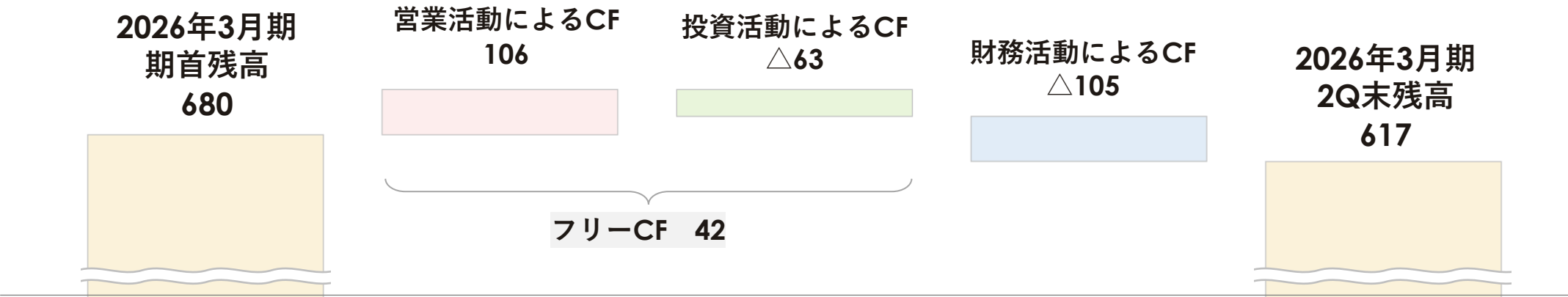
貸借対照表

(単位：億円)

		2025年 3月末	2025年 9月末	増減	主な内容
資産	流動資産	1,603	1,575	△28	現金及び預金 △63 売上債権 +17 棚卸資産 +6
	固定資産	1,165	1,197	+32	有形固定資産 +23
資産合計		2,769	2,773	+4	
負債	流動負債	630	649	+18	仕入債務 +34 短期借入金 △16
	固定負債	193	192	△0	
負債合計		824	841	+17	
純資産		1,945	1,931	△13	中間純利益 +69 剰余金の配当 △33 自己株式の取得 △55
負債純資産合計		2,769	2,773	+4	

キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)



	2025年3月期 2Q(4-9月)	2026年3月期 2Q(4-9月)	主な内容	
現金及び現金同等物の期首残高	596	680		
営業活動によるキャッシュ・フロー	91	106	税金等調整前中間純利益	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52	△63	有形固定資産の取得による支出 有形固定資産の売却による収入	△81 +13
フリーキャッシュ・フロー	39	42		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18	△105	短期借入金の減少額 自己株式の取得による支出 配当金の支払額	△16 △55 △33
現金及び現金同等物の期末残高	617	617		

1. 2026年3月期 第2四半期 決算概要 P. 4 ～ 11

2. 2026年3月期 通期業績予想 P. 13 ～ 20

3. Appendix P. 22 ～ 34

国内経済

雇用・所得環境の改善を背景として、引き続き緩やかな回復基調で推移。
一方、物価上昇の継続に加え、米国の通商政策や地政学リスクの高まりもあり、先行きは不透明な状況。
原材料価格は、足元では落ち着いてはいるものの、引き続き高止まりしている。

住宅市場

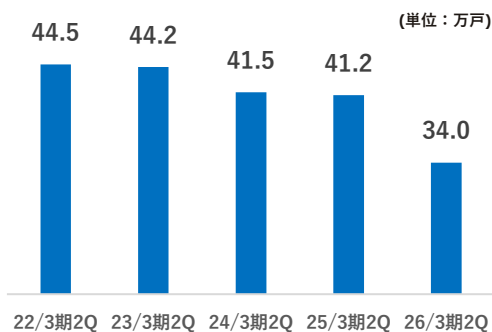
25年4月に施行された建築基準法等改正前の駆け込み需要の反動などにより、新設住宅着工戸数は戸建・マンションとも前年から大幅減少。
同指数は当社にとって先行指標のため、今後の動向を注視するものの、駆け込み需要とその反動により業績への影響はニュートラルと予想。
リフォーム需要は足元では力強さを欠く展開。ただし、豊富な住宅ストックを背景に緩やかな上昇基調は継続する想定。

為替/関税

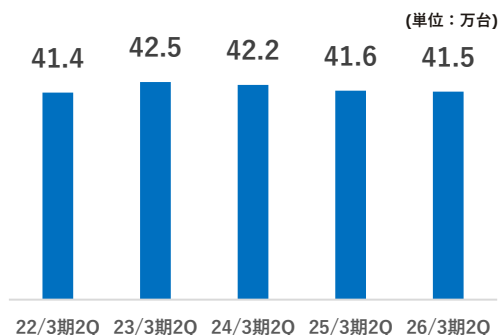
現時点における当社の販売先は国内市場の比重が大きく、かつ仕入先も大半は国内企業となる。
従って、為替および関税の変動に対しては間接的な影響を受ける可能性はあるものの、直接的な影響は軽微。

業界の動向

新設住宅着工戸数(国土交通省)

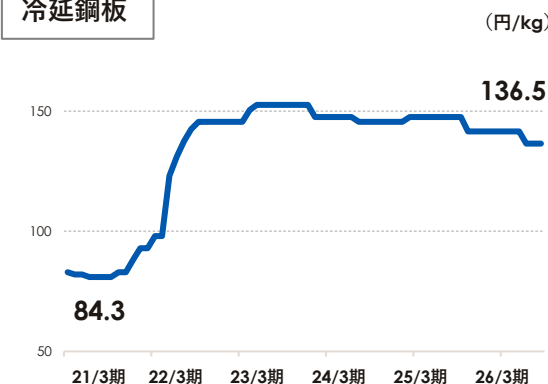


リフォーム市場への
キッチン・浴室の出荷台数
(キッチンバス工業会)

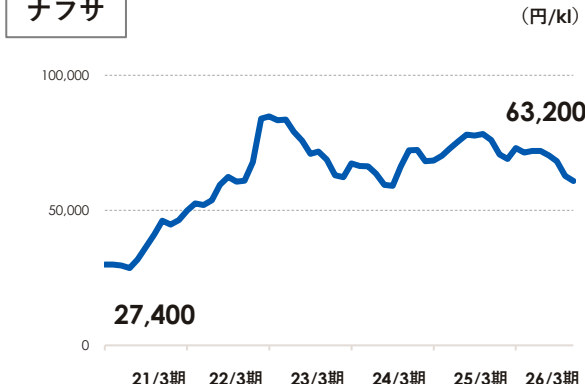


主な資材の市況

冷延鋼板



ナフサ



リフォームは市況も厳しく前期から微増を想定。一方、上期好調だった新築は、戸建・集合とも通期で前期および当初予想を上回る着地を見込む。結果、全体の売上高は当初予想から30億円増に上方修正。各利益については、増収に合わせて増益を想定。ROE予想は6.7%。業績を向上させつつ、株主還元的大幅拡充により純資産の圧縮を進める。

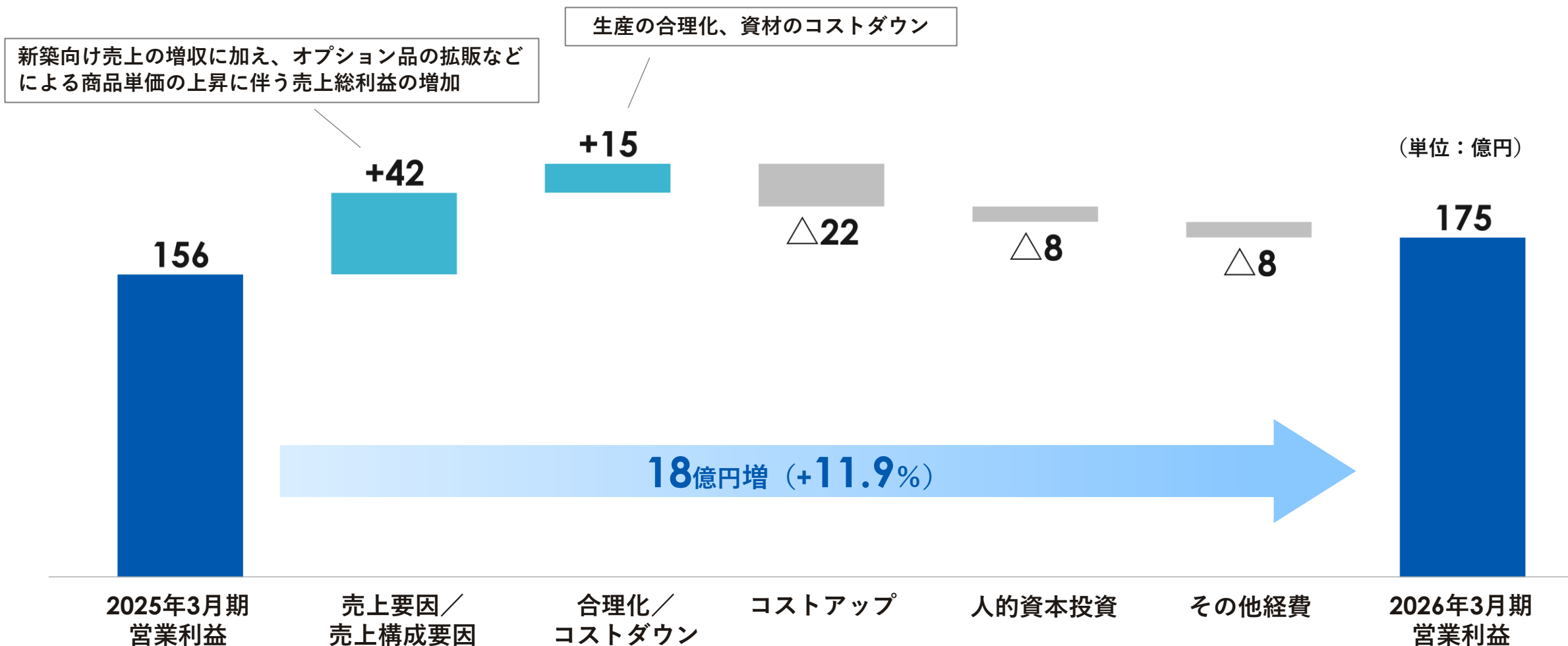
	2025年3月期 実績	2026年3月期 当初予想	2026年3月期 修正予想	前期比		当初予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	2,433	2,470	2,500	+ 66	+ 2.7%	+30	+1.2%
営業利益	156	172	175	+ 18	+ 11.9%	+3	+1.7%
営業利益率	6.4%	7.0%	7.0%	+ 0.6P	—	+ 0.0P	—
経常利益	160	175	178	+ 17	+ 11.2%	+3	+1.7%
純利益	110	128	130	+ 19	+ 17.2%	+2	+1.6%
ROE	5.8%	6.7%	6.7%	+0.9P	—	+0.0P	—

[市場別の下期予想]

新築戸建：建築基準法等改正の反動が一部懸念されており、上期と比較して保守的な計画
新築集合：売上は前期並みを想定するも、前期下期はオプション品の販売が非常に好調だったため、利益は一定の反動を想定
リフォーム：業界全体の伸び悩みが継続する想定。その中で提案強化により販売台数は前期から増加を目指す

(単位：億円)

	2026年3月期													
	上期実績					下期予想					通期予想			
	実績	売上比	前期増減	前期比	構成比	予想	売上比	前期増減	前期比	構成比	予想	売上比	前期増減	前期比
売上高	1,231	100.0%	+71	+6.2%	49.3%	1,268	100.0%	△5	△0.4%	50.7%	2,500	100.0%	+66	+2.7%
営業利益	87	7.1%	+27	+46.3%	49.8%	87	6.9%	△8	△9.2%	50.2%	175	7.0%	+18	+11.9%
経常利益	90	7.3%	+28	+46.8%	50.6%	87	6.9%	△10	△10.9%	49.4%	178	7.1%	+17	+11.2%
純利益	69	5.6%	+30	+79.0%	53.5%	60	4.8%	△11	△16.0%	46.5%	130	5.2%	+19	+17.2%
ROE											6.7%		+0.9p	



2026年3月期の設備投資は123億円を計画

生産性の向上及び更なる成長を目的に、生産関連投資で76億円、その他 I T 関連投資などを含め、積極的な投資を計画。

(単位：億円)

	2026年3月期 計画
設備投資額	123
減価償却費	78



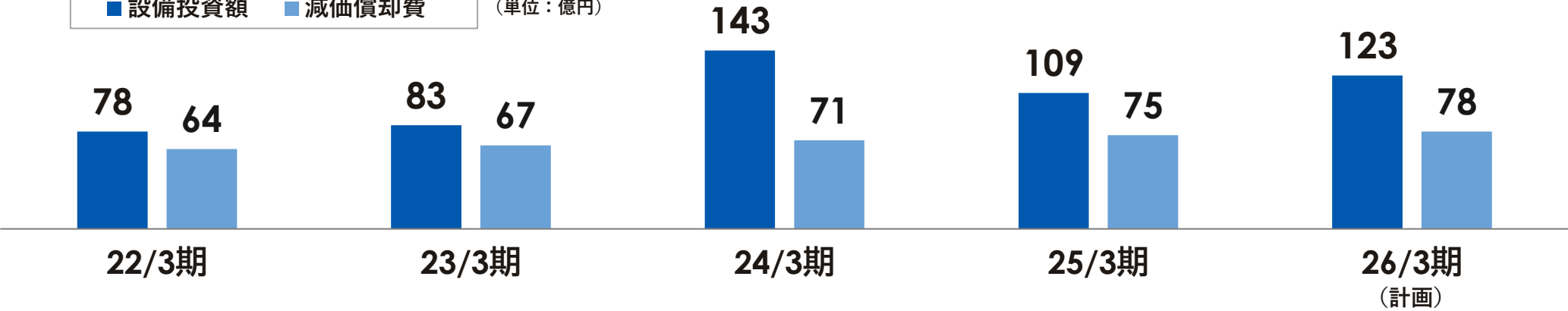
(主な内訳)

(単位：億円)

項目	金額	主な内容
生産関連	76	自動化・省人化による生産効率化投資、 生産設備の増設などの増産対応、他
システム関連	17	I T 関連投資 (DX化の推進、他)
建物事務関連	16	オフィス環境整備、建物維持管理、他

■ 設備投資額 ■ 減価償却費

(単位：億円)

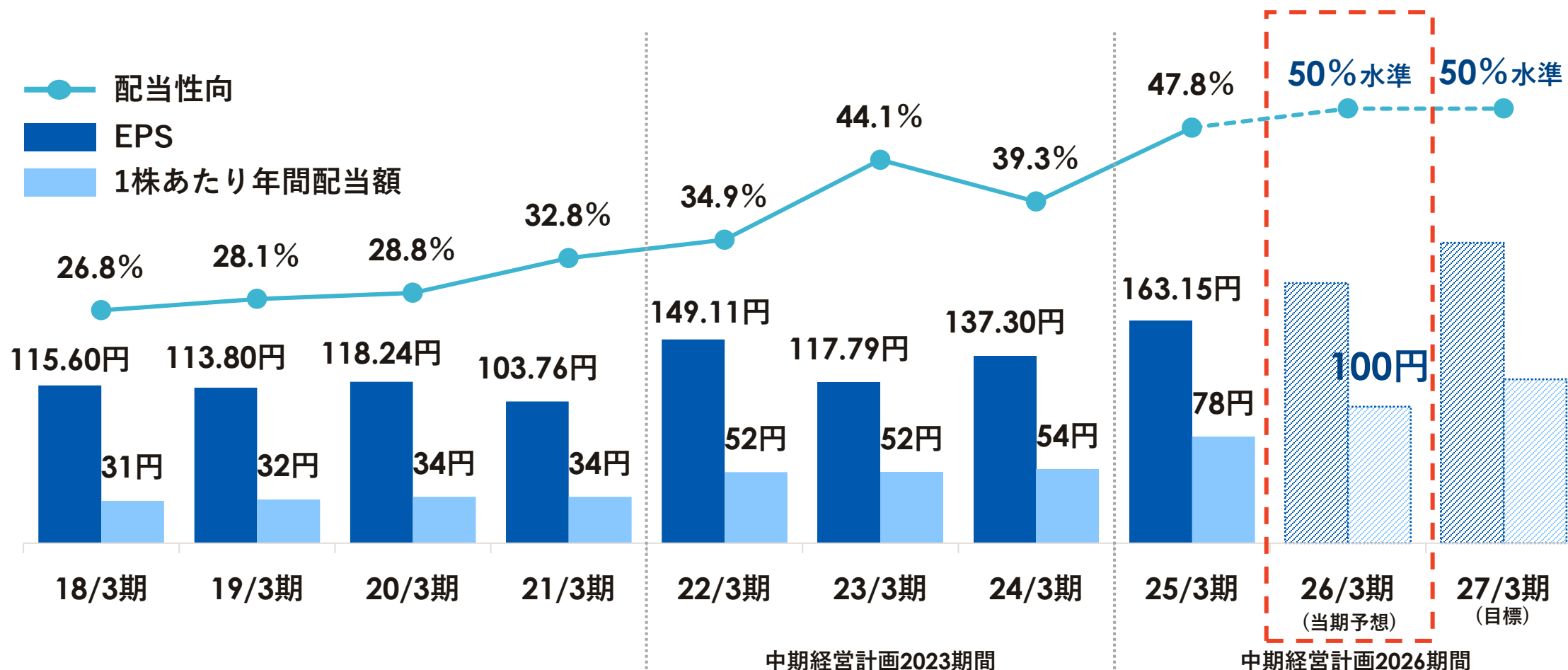


2027年3月期のROE8%の実現に向けて、株主還元方針をより積極的な内容に改定する。

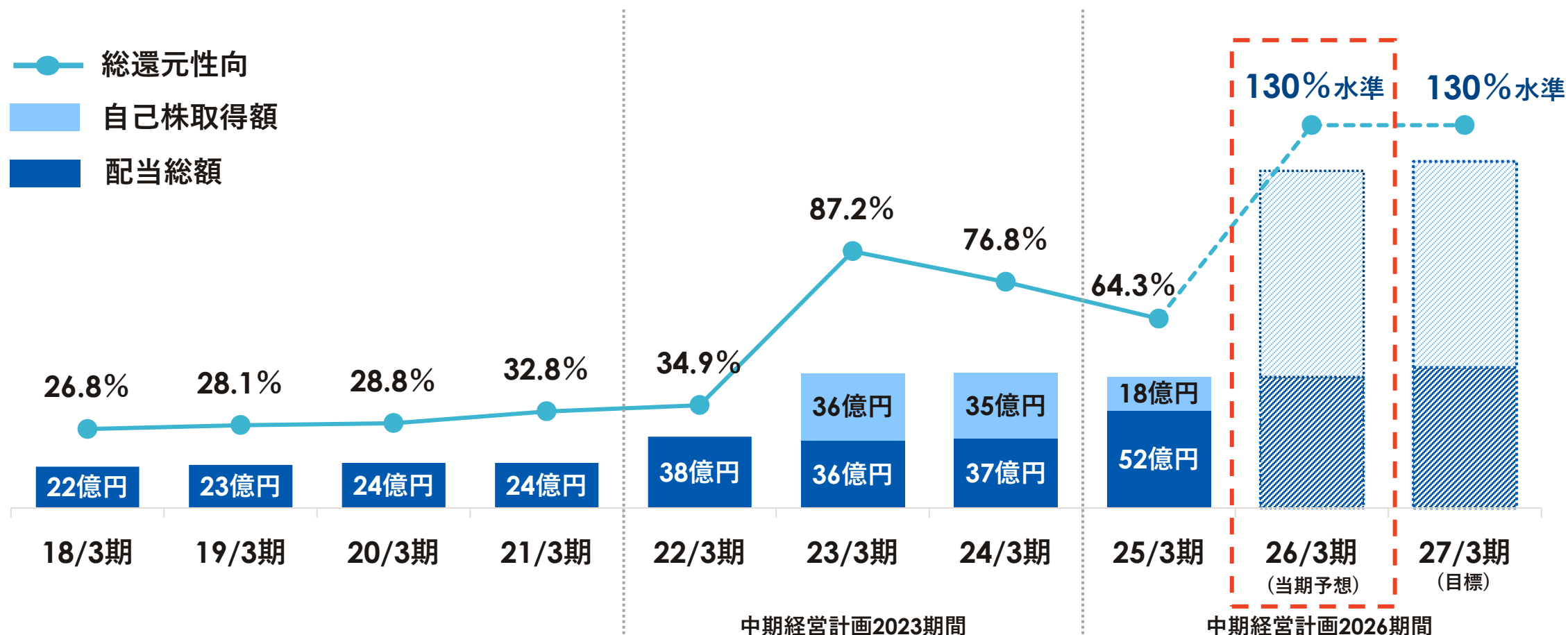
株主還元方針		新株主還元方針
株主還元方針	配当金	配当性向50% (現中計期間3年総額 約200億円) 利益成長に伴う累進配当
	自己株式取得	26/3期～27/3期 約220億円の取得 (現中計期間3年総額 約240億円)
株主還元の考え方		持続可能な成長基盤の構築に向けて、成長投資や経営基盤強化等に資本を積極的に配分するとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元の充実を図る 現中計期間においてROE8%実現に向けて、配当に加え自己株式の取得による株主還元も積極的に活用する

中計2026終了(2027年3月期)以降については、その時点での財務状況や投資案件によるものの、
2031年3月期の**KPI(ROE10%)**や**株価向上**を強く意識して決定

- ・ 26/3期の1株あたり配当額は、前期から22円増配の年間100円(中間配当50円)。
- ・ 当社では従前から安定配当を基本に、記念配当を除き現在まで33期連続で減配なし。
- ・ EPS成長を続けながら、直接的な株主還元も強く意識していく。



- ・ 前中期経営計画期間から自己株取得を推進し、総還元性向は高水準で推移
- ・ 目標ROE8%の達成、更には早期のPBR1倍クリアに向け、更に加速
- ・ 26/3期および27/3期は、純資産の縮減に向け、自己株式約220億円を取得し、総還元性向は130%水準
- ・ 今期の自社株買いは約110億円を予定し、2Qでは55億円を取得



1. 2026年3月期 第2四半期 決算概要 P. 4 ~ 11

2. 2026年3月期 通期業績予想 P. 13 ~ 20

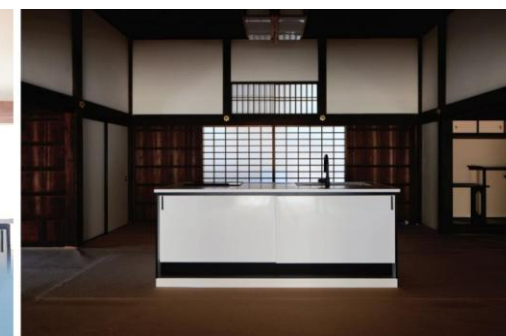
3. Appendix P. 22 ~ 34

個人投資家向けイベント「日経・東証IRフェア2025」初出展



- 個人投資家向けIR強化の一環として、9/26・27に開催された国内最大級の個人投資家向けイベントである同フェアに初出展

国宝・黄檗山萬福寺で海外向けPRイベントを開催



- 2015年に本格的な海外展開を開始し、2030年度に売上高100億円を目標
- 海外の著名インフルエンサーをお招きし、グローバル市場での認知度向上を図るべく、ホーローキッチンのPRイベントを開催

https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20250910.pdf

製品の延長保証サービスを開始



- 長く安心して当社製品をご使用いただくため、最長10年間の「Takara standard延長保証サービス」を10月から開始
- 本体だけでなくレンジフードなどの付属機器も対象となることも特徴

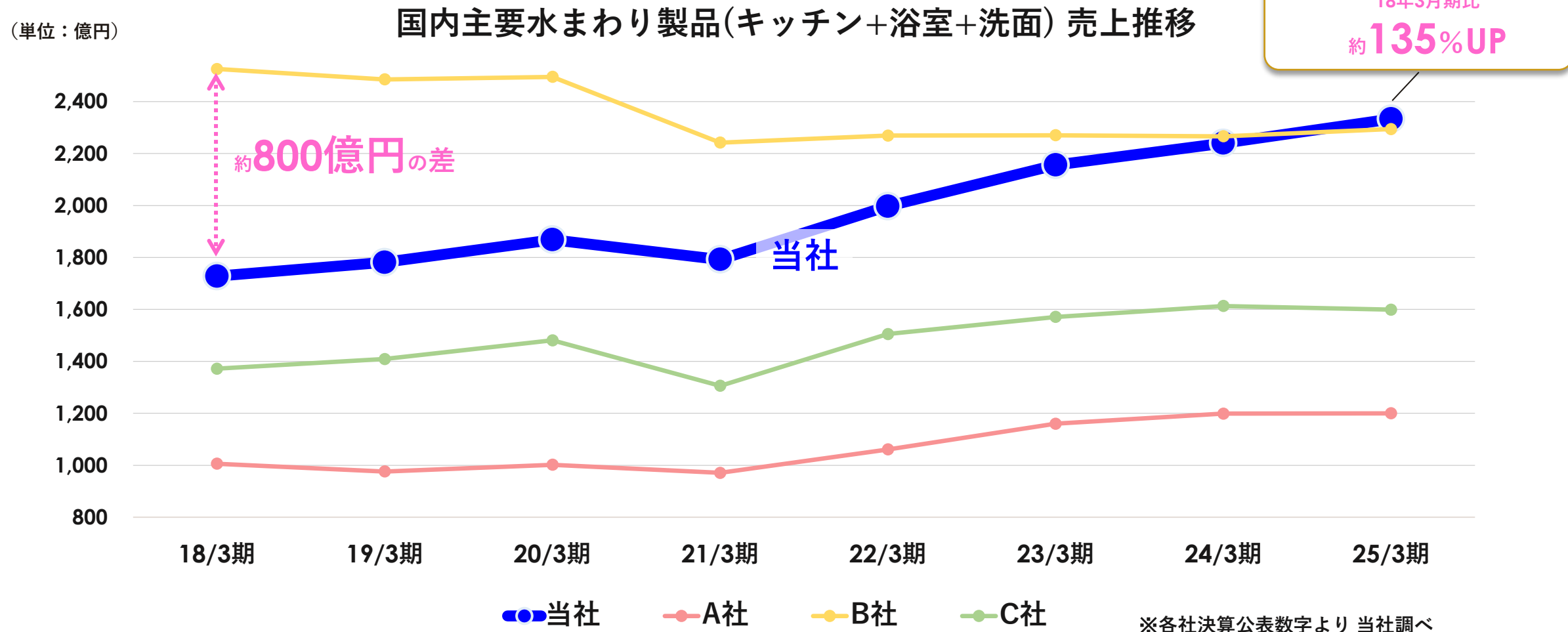
https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20250916.pdf

ホーロー洗面化粧台「ファミリー」モデルチェンジ



- 8/25、洗面化粧台の主力製品である「ファミリー」をモデルチェンジ
- カウンターのバリエーションの充実や1cm刻みで間口調整ができるプラン、触れずにゴミが捨てられる排水栓など、多様化する洗面スタイルのニーズに対応

https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20250626.pdf

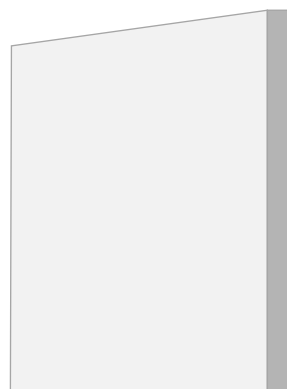
2025年3月期はキッチン＋浴室＋洗面化粧台の合計金額 業界 **No.1** を達成

ホーローとは？

金属の表面にガラス質の釉薬を焼き付けた複合材料。
金属の強さとガラスの美しさなど、それぞれの長所を最大限に活かした夢の素材です。

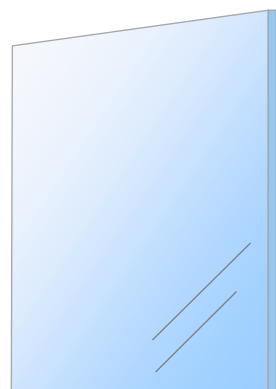


高温で焼き付けて密着！

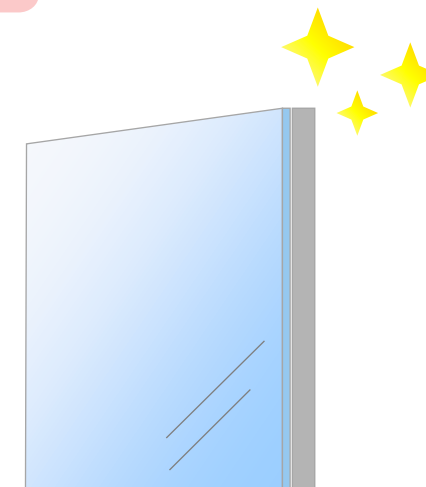
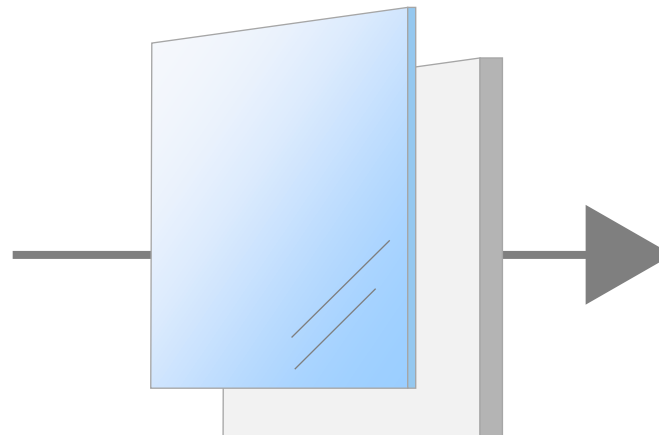


鋼板（金属）

+



ガラス質（釉薬）



高品位ホーロー

お手入れカンタン



湿気に強い



キズに強い



熱に強い



マグネットが
使えて便利



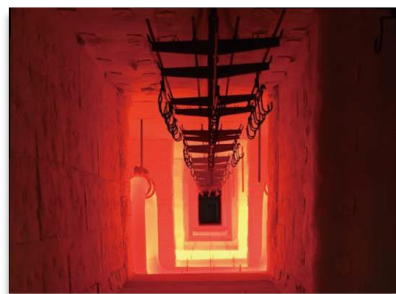
ニオイも平気



お客様のニーズに合わせた様々な製品を各地で生産、物流拠点を整備

- ✓ 大規模物件に対応できる生産・物流能力 ✓ 拠点の分散配置により、自然災害などのリスク回避

● 生産拠点 計 **15** カ所



◆ 物流拠点 計 **8** カ所

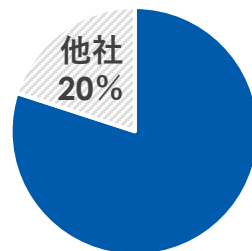


取引先から高い評価を獲得し、新築集合向けキッチン・洗面化粧台は高シェア



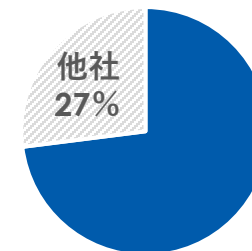
キッチン（台数）

当社 **80%**



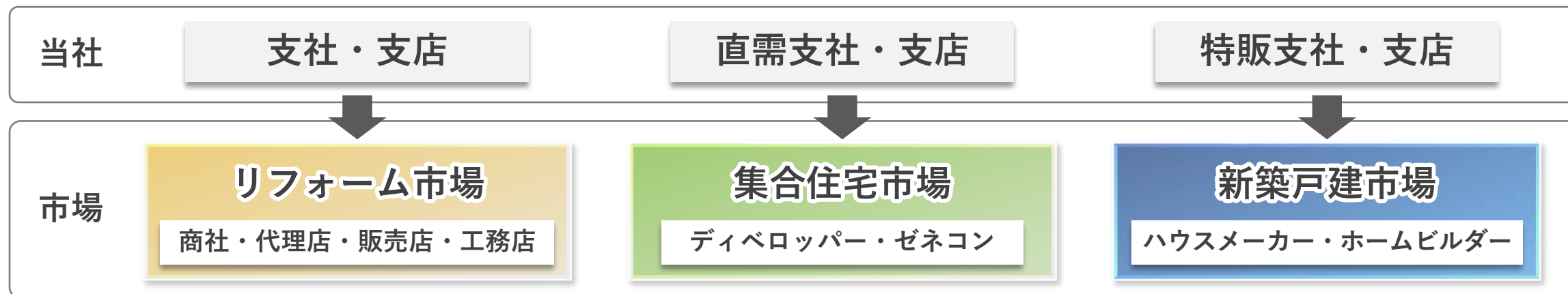
洗面化粧台（台数）

当社 **73%**



※新築集合住宅市場（分譲）における出荷台数シェア（2024年度 当社調べ）

各市場に対応した専門の営業組織を配置し、きめ細かな営業活動を実現



お客様が商品を「見て、触れて、納得」いただける地域密着型のショールームを展開

業界最多

全国47都道府県に
約160カ所



ホームページではリフォームの情報収集に役立つWEBコンテンツをご用意



当社と提携している高い実績と豊かな経験を持つ、リフォーム店が加盟する組織。水まわりリフォームのパートナーを探することができます。



（単位：億円）

	2025年3月期				2026年3月期							
	1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		1Q (4-6月)				2Q (7-9月)			
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	増減	増減率	実績	売上比	増減	増減率
売上高	573	100.0%	586	100.0%	613	100.0%	+ 40	+ 7.1%	617	100.0%	+ 31	+ 5.3%
売上総利益	197	34.5%	198	33.9%	214	34.9%	+ 16	+ 8.4%	217	35.2%	+ 18	+ 9.5%
販売費及び一般管理費	166	29.1%	170	29.0%	172	28.1%	+ 5	+ 3.3%	172	27.9%	+ 2	+ 1.4%
営業利益	30	5.4%	28	4.9%	42	6.9%	+ 11	+ 35.8%	45	7.3%	+ 16	+ 57.6%
経常利益	32	5.7%	28	4.9%	44	7.3%	+ 11	+ 36.3%	45	7.3%	+ 16	+ 58.9%
純利益	20	3.6%	18	3.1%	30	5.0%	+ 10	+ 48.7%	38	6.3%	+20	+113.6%

市場別の売上高（四半期別対比）

（単位：億円）

		2025年3月期				2026年3月期							
		1Q （4-6月）		2Q （7-9月）		1Q （4-6月）				2Q （7-9月）			
		実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率
新築	戸建	171	29.9%	176	30.0%	192	31.4%	+ 21	+ 12.6%	186	30.1%	+ 10	+ 5.7%
	集合	182	31.8%	203	34.8%	200	32.7%	+ 18	+ 10.2%	226	36.6%	+ 22	+ 11.0%
	計	353	61.6%	379	64.8%	393	64.1%	+ 40	+ 11.4%	412	66.8%	+ 32	+ 8.5%
リフォーム		194	33.9%	179	30.7%	196	31.9%	+ 1	+ 0.9%	179	29.0%	△ 0	△ 0.4%
合計※		573	100.0%	586	100.0%	613	100.0%	+ 40	+ 7.1%	617	100.0%	+ 31	+ 5.3%

※その他の売上高を含む

製品部門別の売上高（四半期別対比）

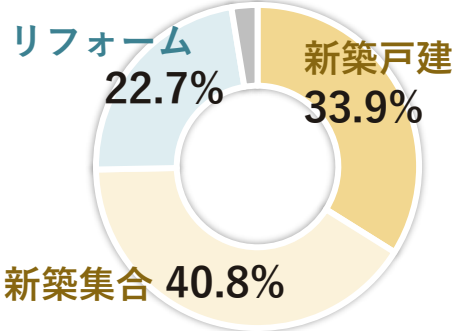
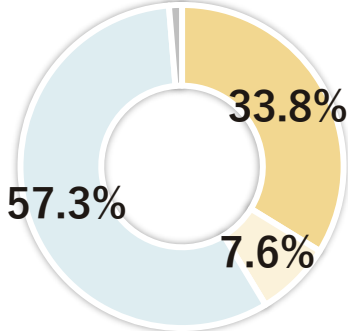
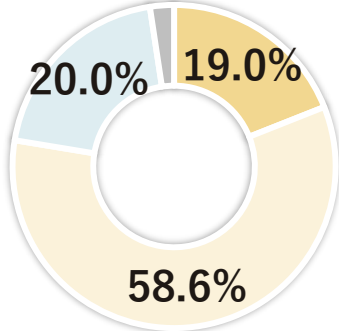
（単位：億円）

	2025年3月期				2026年3月期							
	1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		1Q (4-6月)				2Q (7-9月)			
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率
キッチン	342	59.7%	359	61.3%	368	60.0%	+26	+7.6%	381	61.8%	+22	+6.2%
浴室	142	24.9%	136	23.3%	151	24.8%	+9	+6.5%	139	22.6%	+2	+2.0%
洗面化粧台	64	11.3%	67	11.5%	71	11.7%	+6	+10.8%	75	12.2%	+7	+11.8%
合計※	573	100.0%	586	100.0%	613	100.0%	+40	+7.1%	617	100.0%	+31	+5.3%

新規事業関連(内数)

ガラスフリット	6	1.1%	5	1.0%	6	1.1%	+0	+4.0%	6	1.0%	+0	+9.3%
内外装パネル	1	0.3%	2	0.3%	1	0.3%	△0	△1.4%	1	0.3%	△0	△19.9%
海外事業売上	2	0.5%	3	0.5%	2	0.4%	△0	△3.0%	2	0.5%	△0	△5.2%

※その他の売上高を含む

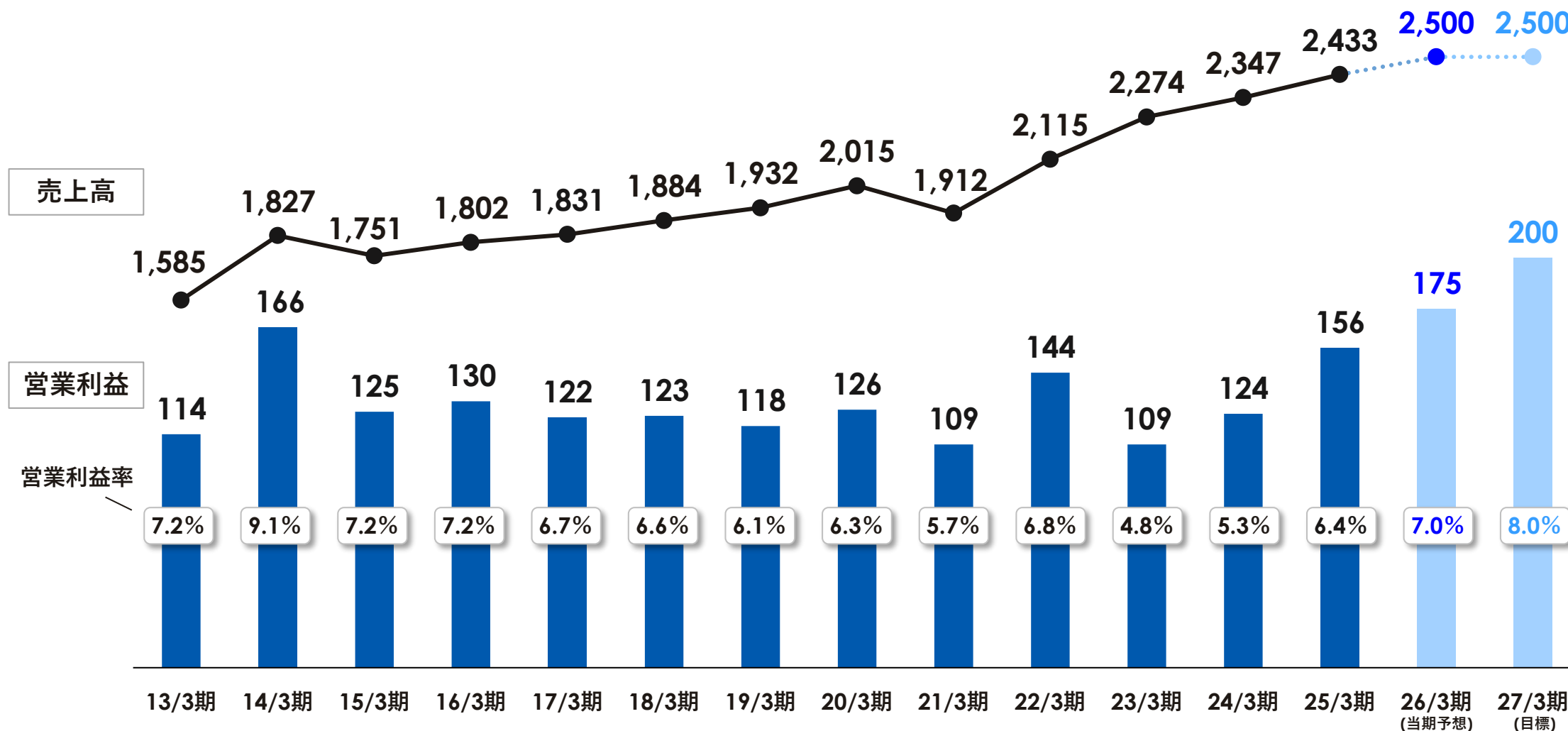
			2025年3月期		
			キッチン 1,490	浴室 557	洗面化粧台 286
売上高（単位：億円）					
売上高 構成比					
売上高 前期比	新築	戸建	+ 8.1%	+ 7.9%	+ 0.2%
		集合	+ 10.4%	+ 19.6%	+ 10.5%
		計	+ 9.4%	+ 9.8%	+ 7.8%
	リフォーム	△ 5.1%	△ 3.4%	△ 2.5%	

売上高 及び 営業利益の推移

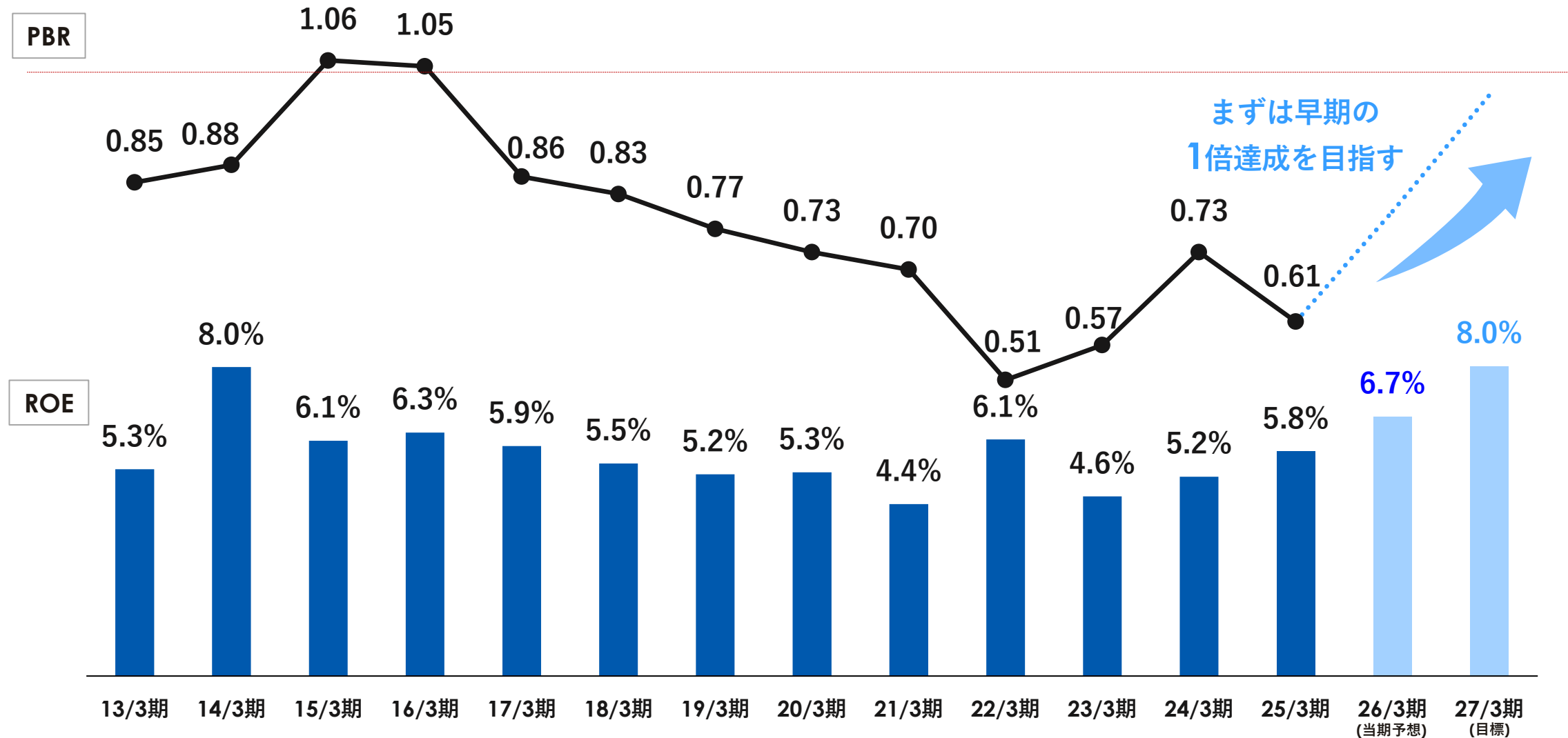
※26/3期予想を2025年11月6日に上方修正

Takara standard

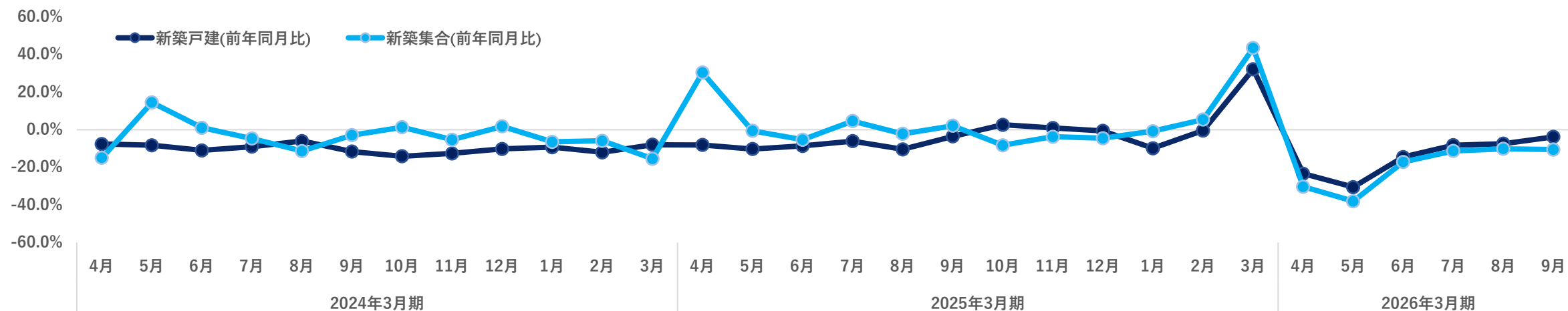
(単位：億円)



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2021年3月期は遡って適用した数値となっておりますが、2020年3月期以前の各数値は遡及適用しておりません。

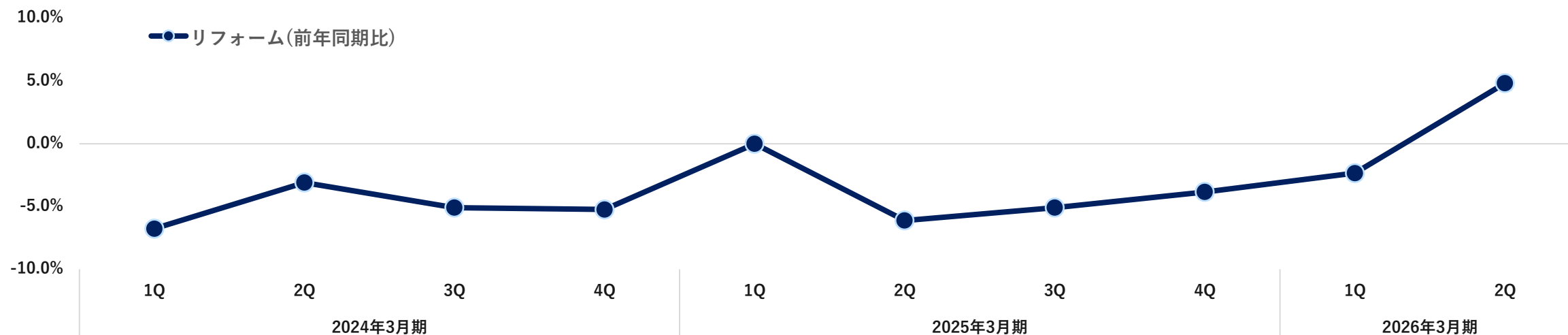


● 新築戸建・集合 関連データ (国内における新築着工数の前年比)

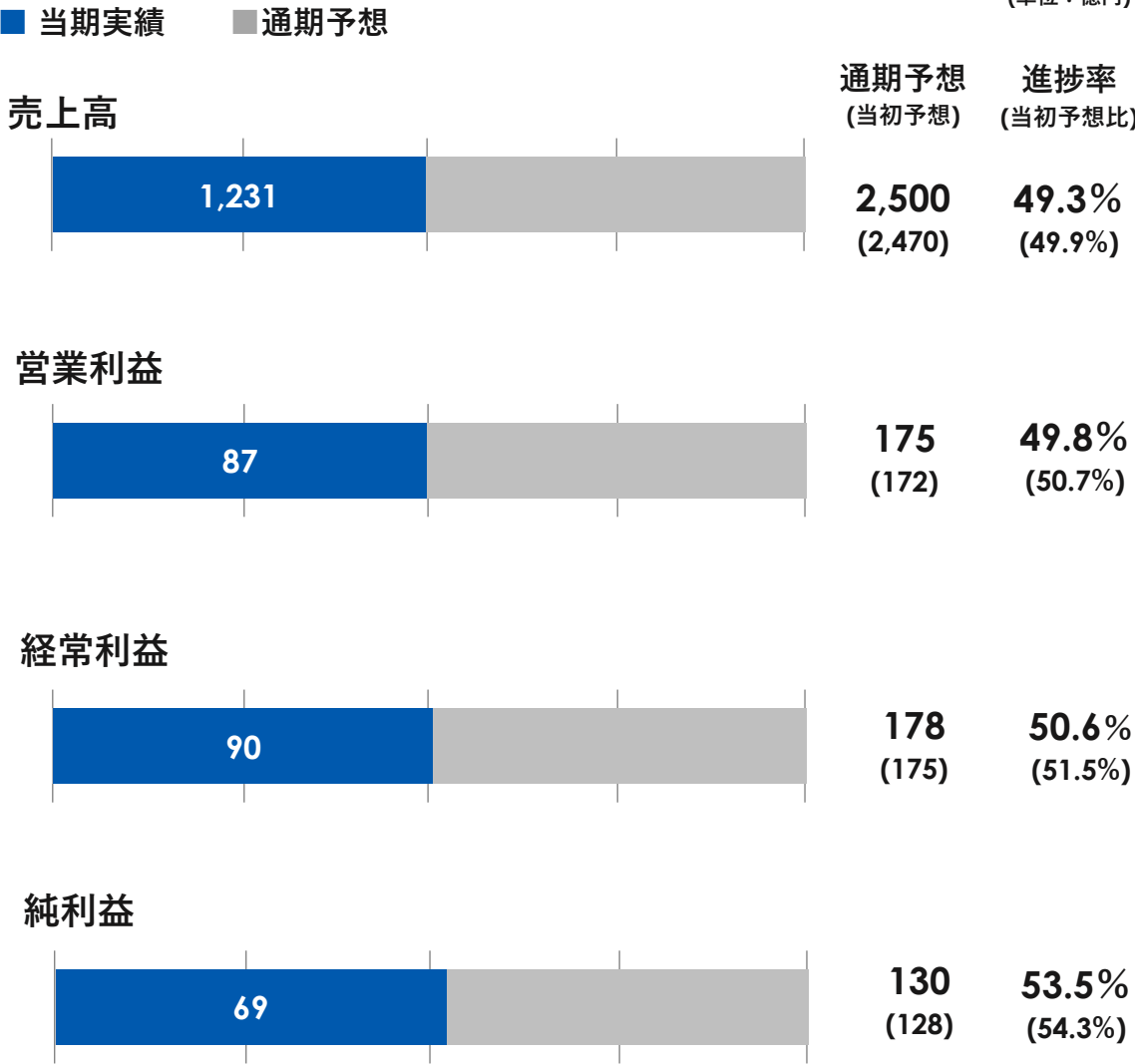


※国土交通省「建築着工統計調査」を一部編集

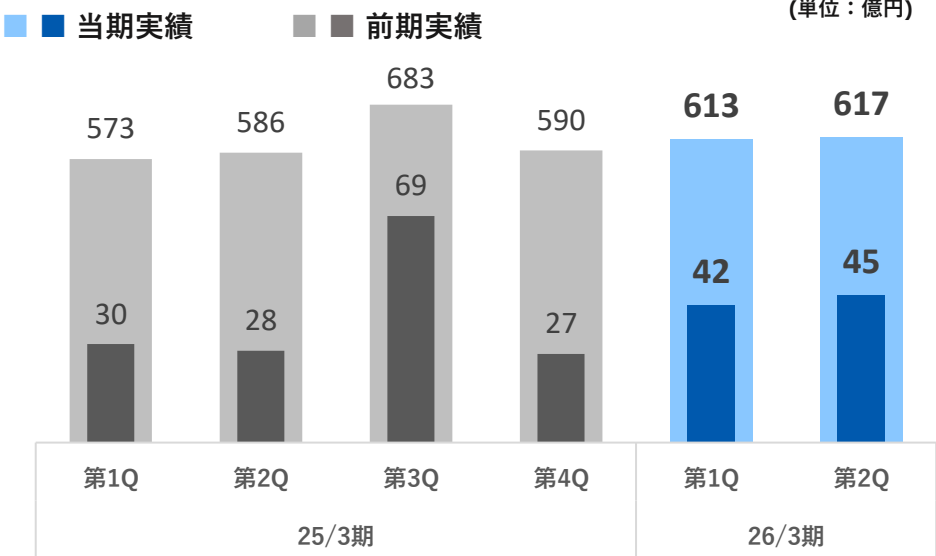
● リフォーム 関連データ (弊社ショールームにおけるリフォーム目的の来場者前年同期比)



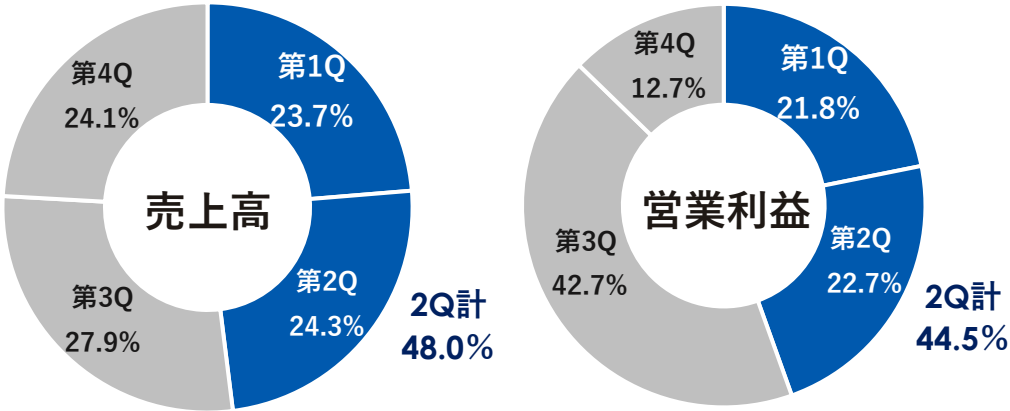
予想進捗率



売上高・営業利益の四半期別推移



(参考) 四半期別業績構成比 (過去5年平均)



< IRお問い合わせ先 >

タカラスタンダード株式会社
管理本部 IR部

TEL

06-6180-6677

E-mail

ir@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

Takara standard

本資料は、公表時点の計画に基づく予測が含まれています。

これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。